

琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(4) (ロジスティックス関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43583

ハフイ夜任同胞等への記念品

贈品

關心の持つる者との危惧の念を抱く者も
少くない状況にあると云ふ。之等神道出身
者の意向は当地日本人社会に於ては、
ハコイ社会にも大なる影響を及ぼすものと
考へられる。従つてこの際 神道は日
本に復帰し、本土、神道相携えたる男
力^{おつた}を~~もつた~~に~~ついで~~と云ふ明確に且つ
力強く印象をつけると共に、従来の階
在的な本土系、神道系の殊外区別を
神道系出身者の内心の微妙な陰影を
~~し新編神道系を形成し之を以て社会に投ずる~~
神道系出身者の意向の持重をとりこむに
能
~~て~~好の機会と好むると云ふ。日本に於て
はこの慶事と社会と恩赦の実施
を小に趣、又在神道に於ては、
ト米軍司令部に於て恩赦の件を云ふ

多教皇の恩恵に浴する者があると外に云
てゐるが、~~前記の如く神道系社会に~~
~~もあつた。当地の予に海外にあり同胞の~~
~~向者事柄の申問に於て、~~ ~~向者~~
~~神道系出身者の意向を、~~ ~~日流、神道系~~
~~出身者の意向を、~~ ~~予に~~ ~~あり~~。下記の
如く指す実施地とせば、今次の慶事
を単なる慶事に終らせず、今次の日系
社会及び彼等の意向を通じての、当
地社会に於ける我々のイデオロギ
に貢献するとして強推して大なる努力
と云ふ之ら小の予、敢て之を具申
す
人功省府特別教諭
今次の神道施設推進の件は海外に

あつて盡力し特に功績顯著であつた同
胞又は外人に對しては特別叙勲の
途を圖つてゐるに於ては、當省管下
に於ても上述の如く、當省に於ては
合はぬ内申の如く、該省に於て日系
人3名米国人(例之は米日太平洋
司令官 William B. Ross 大將等)數
名あるに、同省の由指示を俟つて
内申の如く。

不記念品贈呈

上記叙勲の件と對しては、
左の如く、功績のあつた者に対し、

不記念品として記念品を贈呈する

が、^{賞状の名称等は、例之は「大佐」}
不記念品として、記念品は、

不記念品として、數は、

相当地数(約100名日米軍関係者50名)と

高年者、強ひてゐるに、

3. 神戶系^米市民への功績

神戶系^米市民は、今般の復興実現のため、

主として戦後荒廢した神戶復興のため、

大に貢献してゐる。その中には

神戶人連合会があり、同連合会は、

系外の他国の奨学基金を有し、

神戶人子弟の高校、大学生數名に對し

毎年奨学金を支給してゐる。今般の復興

費に記念として、この奨学基金として大に

かう若干(例之は1000ドル)贈呈する

が、この記念品としての復興は、

は、深く所望つて、彼等の對日感

を極めて、甚しい効果を齎すものと考

米北1号

67.5.27

米北1

1. 在米北1号領事上の本件手続は、
ついでに、以下の理由もあり、応了
として差し控えるべきではないかと
考へます。

(イ) 二種類の行事は 復帰前又は
復帰時に 行われるべきものであり、
現在と同一の行事は 行われません。

(ロ) 沖繩軍去刑者の 処刑有様情報秘蔵
とあるが、沖繩軍位民の 唯一の問題
ではない。二種類の問題は 50に1多
くあるが、二種類の問題、
沖繩復帰を
妨げる形での 対応は 必要と考へる。
必要と考へる (妥当と思われない)。

(1) 沖縄復帰の責任を行使した人
は、その以外には限らぬ。
金型、記念品を配布
する場合は、他の均衡を十分慎重に
考慮せしむるべし。

公法上の面から、具体的には、
その内容は明確である。
一般的には、沖縄復帰を機会に
金型等（記念品等）を
配布し、将来金型の候補者
を選定する際、沖縄復帰への
責任を考慮の対象とするべく
十分注意せしむるべし。

2. 在米日米総領事館の設立、本邦政府
を説明の上、沖縄自治団体
メンバー、その他関係者を招待して
説明を行使するべき旨を回答
した如何かと思ふ。

47. 6. 8

人事課課長班

従来も 外国在住沖縄県人中 相当の功績

があるものについては、他の在留邦人同様 叙勲

を實施して来ており、今回特に沖縄施政権

返還に伴う功績者（如何なる功績か具体的

でない）として叙勲することは他の在留邦人の

均衡上好ましくないと考えられる。

5/20


東京府立第一高等学校

文芸部

事務係

内宛 和田洋行
〒100 東京都千代田区
丸の内一丁目1番1号
1949年

三三三

秘密表示(朱印)


④ 内閣府報告
 (近衛等) 補入
 (2)

部数指示	発信用	執務用	備考
主 信	1	2	3
付 属	あり(各2)		

発送日	昭和47年7月 1日
処理日	
発信一	ありと 検査

文書課長 (分) 公 信 案 (分)

公 信 番 号	北 第 15 / 号	公 信 日 付	昭 和 47 年 7 月 1 日
大 臣	主 管	起 案	昭 和 47 年 6 月 30 日
政 務 次 官	{ アメリカ局長 参 事 官 北 米 才 一 課 長	起 案 者	電 話 番 号
事 務 次 官		ハ 中	2 4 6 5
外 務 審 議 官			
外 務 審 議 官			
官 房 長			
協 議 先			
受 信 者	沖 縄 商 業 本 局 総 務 局 (和 田) 総 務 課 長	発 信 者	(深 田) 北 米 才 一 課 長
写 送 付 先		(希 望 発 送 日)	7 月 1 日
件 名	沖 縄 復 帰 記 念 誌 在 外 同 胞 等 對 記 念 誌 表 彰 寸 子 1 6 2 7 1 1 2 目 録		
GA-2	1 外 務 省	回 数 番 号	

(注) 内閣府報告(近衛等)補入。北米一長の和田(北米)の依頼(和田)文を提出方

(件名) ^{〔=沖縄復帰の記念品〕} 沖縄復帰を記念し在外同胞等へ表彰 を贈呈することについて	
引用公・電信 日付・番号	
1. 在ホノルル総領事より、外務大臣に対し、5月 18日付公信才302号をもって、ホノルル在位日 系米人は去る5月14日、沖縄の復帰を記念し 盛大な祝賀会を開催したところ、沖縄の復 帰に盡力した(イ)日米人に対する特別叙勲	
※ 付属添付 <input type="checkbox"/> 付属空便(行) <input type="checkbox"/> 付属空便(DP) <input type="checkbox"/> 付属郵便(貨) <input type="checkbox"/> 付属船便(郵) <input type="checkbox"/>	

(ロ) 日米人及び米軍関係者に対する記念品の贈
呈及び(イ) 沖縄系米市民に対する援助等
につき配慮方申し越しました。(詳細別添
公文参照)ので、当方において慎重に検討
した結果、前記(イ)及び(ロ)については他
の日米人との均衡上好ましく、(ロ)の
記念品の贈呈がもつとも適当であるとの
結論を得ました。

2. 本件については当課担当官より ^{お礼}
~~お礼~~ ^{致してあります。}連絡 ~~済み~~、沖縄の復帰
に貢献した ^(伊集)在位者も東京における
式典に費用その他より ^{の事情}招待し得なかつた
ことでもありますので、事情御了承の上、沖
縄復帰記念式典の記念品100個程度を
前記関係者へ贈呈することにつき、特別

の御配慮を得たく御依頼申す。

別添付

(注) 子 内閣文庫
近衛孝館補(2)



外 務 省

米北/第/5/号

昭和47年7月/日

沖縄開発庁総務局経理課長 殿

外務省アメリカ局北米第一課長

在外同胞等に沖縄復帰の記念品
を贈呈することについて

- 1 在ホノルル総領事より外務大臣に対し、5月/8日付公信第302号をもつて、ホノルル在住日系米人は去る5月/4日、沖縄の復帰を記念し盛大な祝賀会を開催したところ、沖縄の復帰に尽力した(イ)日系人に対する特別叙勲、(ロ)日系人及び米軍関係者に対する記念品の贈呈及び(ハ)沖縄系米市民に対する援助等につき配慮方申し越しました(詳細別添公信

外 務 省

写参照)ので、当方において慎重に検討した結果、前記(イ)及び(ロ)については他の日系人との均衡上好ましからず、(ロ)の記念品の贈呈がもつとも適当であるとの結論を得ました。

- 2 本件については当課担当官より連絡いたしておりますが、沖縄の復帰に貢献した日系人ハワイ在住者を費用その他の事情により東京における式典に招待し得なかつたこともありますので、事情御了承の上沖縄復帰記念式典の記念品/00個程度を前記関係者に贈呈することにつき、特別の御配慮を得たく御依頼します。

付 属 添 付

漢

(回覧番号 451) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	総第 0707 041-00
平文	第 202 号	昭和 47 年 7 月 7 日 15 時 50 分
	大至急 (至急)・普通・LTP	発電係

電信課長
代六

写
済

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米第一課長	主管局部課(室)名 米北1 起案 昭和47年7月5日 起案者 電話番号 ハマ中 2465
協議先 官房書記官 会計課長 総務室長 調達室	在外公館課長 送迎室 購送班	臨時代理大使 あて 外務大臣 発
在 在 高良 (総領事)	大使 臨時代理大使 総領事 代理	あて
電 報 在	大使 臨時代理大使 総領事 代理	あて
件名 沖縄復帰記念行事在外同胞の 表對策品の贈呈		
貴信才302号に對し、		
1. 冒頭貴信にて申し越しの諸点につき 検査		
を 検討したところ、同信1及び3.について		
は他の日系人との均等上好ましかた		
結局、同信2.の記念品を贈呈 が もつとも		

会計
47.7.7
総務

(注) 記念品を郵送する場合は、送料は在米同胞の負担とする。昭和四十七年改正

04/

2

妥当であると考える。

2. 記念品については、その沖縄復帰記念式典挙行の際、参列者に贈呈された記念品(造幣局作製直径7センチの銅製文鎮、なお表には守礼の門が刻印されている)が望ましく思われたので、右の贈呈について、総領事と協議した結果、本件に限り特に因記念品100個を貴地関係者に贈呈することにつき了解をとりつけた。

3. ついては前記記念品100個(パンフレット「新生沖縄県」100冊)を空送することにつき、受領の上は対象者の選定等を含めしかるべく措置ありたい。なお、記念品贈呈者の対象者については、7月7日付復信米北1才151号附属1「参列者推せん

04/

3

基準)を参照の上、本土未帰還者との均衡
 性を
 を失し、~~その~~十分留意の至~~である~~ありなく。
 結果を
 是と同定対象者につき前記宛信別添入
 の用紙に所要事項を記入(添付)して送付あり
 上、
 (了) 以上事務報告願いたい。

GB-3

外務省

秘密表示(朱印)
 平文

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	1	1	
付		あり(佐の平)	
属			

発送日 昭和47年7月10日
 処理日
 発信タイプ 検査

文書課長 (朱印) 公信案 (分類)

公信 番号 米北1 第 151 公信 日付 昭和47年7月7日	起案 昭和47年7月6日
大 区 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ局長 参事官 北米オ一課長 外務省事務官
起案者 13中 電話番号 2465	
受信者 花ホ)ル心 総領事	発信者 外務大臣
写送付先	(希望送付日) 月 日
件名 沖縄復帰を記念する在外同胞の 表對	

GA-2 7 19 務省 回覧番号

文書課長管理用
 はんこ
 市宿君へ持参のこ

米北1第151号
昭和47年7月7日

在ホノルル総領事殿

外務大臣

(件名)

沖縄後帰記念品の贈呈

引用公・電信
日付・番号

(米北1)往電才202号

冒頭往電3.1に同じ。沖縄後帰記念式典
参加者推せん基準及び参加者推せん名簿用紙を
別添送付す。

(※印は文書課記入)

※ 付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

GA-2-1

外務省

別紙 /

沖縄復帰記念式典参列者推せん基準

1. 立法機関

- (1) 衆・参両院議長，副議長夫妻
- (2) 国会議員（国務大臣・政務次官を除く）
- (3) 事務局（国会図書館を含む）の部長以上並びにこれに準ずる者
- (4) その他事務局職員の中でふさわしい者

2. 行政機関

- (1) 国務大臣夫妻
- (2) 政務次官・事務次官等
- (3) 認証官，局長以上並びにこれに準ずる者
- (4) その他の職員の中でふさわしい者

3. 司法機関

- (1) 最高裁判所長官夫妻
- (2) 最高裁判所判事夫妻
- (3) 認証官，局長以上並びにこれに準ずる者
- (4) その他の職員の中でふさわしい者

4. 地方公共団体

- (1) 都道府県知事並びに同議会議長
- (2) 全国市長会会長・副会長並びに同議会議長会会長・

副会長

- (3) 全国町村長会会長・副会長並びに同議会議長会会長・

副会長

5. 民間関係

- (1) 特殊法人の総裁・副総裁，理事長・副理事長等
- (2) 次の各号の一に該当するもの

ア 各界において代表的な立場にある者

イ ア以外の者で招待することがふさわしい者

(注) 上記イについては，たとえば次に掲げるところに

該当し，招待することがふさわしい者であること。

- ・ 政治，経済，文化，教育，社会，福祉等の分野で沖縄の発展のために著しい活躍をしている者。
- ・ 沖縄復興のために特に功績のあつた者。
- ・ 沖縄復帰のために貢献のあつた者。

6. 沖縄関係（沖縄からの参列者を含む）

7. 青少年

8. 外交関係

- (1) 在日米大使夫妻
- (2) 在日米大使館関係者で招待することがふさわしい者

夫妻

(3) 在日外交団長夫妻

(4) その他招待することがふさわしい者夫妻

2 報道関係

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、外国報道関係等の各代

表

10 その他

元内閣総理大臣、元衆・参両院議長、元最高裁判所

長官各夫妻等

沖繩復帰記念式典参列者推薦名簿

省庁名 (No.)

番号	(氏名)	主要役職名	現住所	備考

2011/8